



わき 神奈川県議会議員 脇れい子

わき

かながわ未来県議団

議会報告

だれひとりとり残さないとともに生きる神奈川へ

ホームページ:<http://wakireiko.jp/> 2023年7月

7月11日 神奈川県議会令和5年 第2回定例会 閉会

「持続可能な神奈川」の更なる取組強化に向けた令和5年度6月補正予算等を可決し閉会。所属する会派「かながわ未来」の代表質問（質問者：岸部都議員）の中から、教員不足に対する県教育委員会の対応についての報告をします。

教員不足の状況と教員確保に向けた県教育委員会の取組について

本年5月1日時点の教員不足数は小学校で102人、中学校で44人、昨年よりさらに悪化、また教員採用試験の応募者も減少傾向、意欲と能力のある教員の確保がますます難しくなっている。この現状をふまえ、県教育委員会では、本年3月に教員採用試験のあり方を大胆に見直した。具体的見直し内容は、

- *教員採用にかかる大学推薦の対象を大学4年生から3年生に前倒しをする。
- *これまで年1回としていた夏の試験（通常試験）に加え、近年受験倍率が特に落ち込んでいた小学校を対象に、来年度から新たに秋の試験を導入し、受験機会を複線化する、の2点。さらに教員の働き方改革を進めるなど、できる限りの手段を尽くして、教員不足の解消に全力で取り組む、との方針を教育長が示しました。



7月5日開催の予算委員会で質疑を行いました

結婚に向けた機運醸成を図る「恋カナ！プロジェクト事業費」について

「結婚・妊娠・出産・育児の切れ目ない支援」として事業化している結婚支援は、少子化対策を視点とし、「恋カナ！プロジェクト事業費」は、令和4年度2月補正予算で2,408万円を計上、さらに今回県としての更なる支援として1,919万円を予算計上した。結婚支援は多面的、多角的に取り組む必要があり、県が税金を投入して行う結婚支援の事業がなぜ、出会いの場の提供である恋カナ！プロジェクト事業なのか、知事に問いました。知事からは、恋カナ！プロジェクトなどの結婚支援に重点的に取り組むこととしたのは、結婚している夫婦が持つ子どもの数が大きく減少していないというデータを基に、結婚支援が少子化対策として有効であると判断したため、今後も、さらに対話の広場などを活用し、様々な立場の若者の生の声を聞き、必要な支援策を検討していく、との答弁。

この事業はきちんと検証をする必要があります。特に今年度の事業成果として40組が結婚につながると大きく掲げている目標について、必ず検証をすることを求めました。

神奈川県立総合療育相談センターの今後に向けて あり方検討会報告書が取りまとめられる

県立総合療育相談センターでは、医師の確保困難、看護師不足、施設の老朽化等により、短期入所について令和3年から利用制限を行わざるを得ない状況になっています。私も昨年（2022年）6月23日の一般質問において、「重症心身障がい児者のための短期入所事業について」を質問項目とし、総合療育相談センターを含めた重症心身障がい児者のための短期入所事業について、どのように進めていこうと考えているのか、知事の所見を問いました。

知事からは、センターの現状を踏まえて、当事者、学識者、関係機関や市町村などの意見を伺いながら、センターの短期入所事業の運営方法を検討していく、との答弁があり、その後センターの機能と事業の今後のあり方などについて検討するため、令和4年9月にあり方検討会が設置され、5回の検討会を行い今回報告書としてまとめられました。私は5回の検討会を傍聴し、医療関係者、福祉関係者、利用者側のメンバーの方々の積極的、また真摯な議論を聞かせていただきました。



センターの短期入所事業についての今後の方向性は、

- *医療的ケア児者の家族から短期入所のニーズが高まる中で、様々な状態や障がい特性等に配慮して、身近な地域で必要な時にレスパイトケアが受けられる体制の整備が早急に必要である。
- *民間法人や医療機関等への委託化など、利用ニーズに対応する方策を検討する必要がある、その際、日中活動の支援など生活の質を確保するような工夫が必要である。
- *センターの今後の短期入所のあり方については検討が必要。と示されました。

この点をふまえ、6月の補正予算で「障害児等メディカルショートステイ運営事業」1,568万円が計上されました。高度なケアが必要なため、小児科病床のある中核的な病院に地域バランスを考え委託をしていくことになります。また医療機関であるため生活の質を確保するため、リハビリなど日中活動の支援も合わせて検討していく必要もあります。

私は厚生常任委員会でも質疑をし、短期入所事業に関しては、方向性についての丁寧な説明と、特に利用をお断りした方々には、今後の対応について、しっかりと向き合うことを求めました。



ご意見
ご要望は

わき 協れい子

政務活動事務所

〒251-0026
藤沢市鵠沼東4-6 藤沢奥田ビル203

経歴

1957年 辻堂生まれ
藤沢市立高砂小、市立湘洋中、
県立平塚江南高校、日本女子大学文学部卒
2011年より藤沢市議会議員 2期
2019年より神奈川県議会議員 現在2期目

現在

厚生常任委員会 委員
予算委員会 委員
かながわ未来県議団 政務調査会 副会長

TEL: 0466-90-4737 FAX: 0466-90-4740
Email: wakireiko.office@gmail.com